

		11:00	13:50	16:40	19:30
7月29日	土	トルテュ島の遭難者たち	メーヌ・オセアン	16:30 アデュー・フィリピーヌ ①	19:50 フィフィ・マルタンガル
30	日	アデュー・フィリピーヌ	トルテュ島の遭難者たち	メーヌ・オセアン ②	19:50 アデュー・フィリピーヌ
31	月	フィフィ・マルタンガル	トルテュ島の遭難者たち	メーヌ・オセアン	アデュー・フィリピーヌ
8月1日	火	メーヌ・オセアン	アデュー・フィリピーヌ	トルテュ島の遭難者たち	メーヌ・オセアン
2	水	フィフィ・マルタンガル	メーヌ・オセアン	アデュー・フィリピーヌ	トルテュ島の遭難者たち
3	木	アデュー・フィリピーヌ	トルテュ島の遭難者たち	メーヌ・オセアン	フィフィ・マルタンガル
4	金	トルテュ島の遭難者たち	メーヌ・オセアン	アデュー・フィリピーヌ	トルテュ島の遭難者たち
5	土	フィフィ・マルタンガル	メーヌ・オセアン ③	17:00 トルテュ島の遭難者たち	19:50 アデュー・フィリピーヌ
6	日	メーヌ・オセアン	トルテュ島の遭難者たち	アデュー・フィリピーヌ	メーヌ・オセアン
7	月	アデュー・フィリピーヌ	トルテュ島の遭難者たち	メーヌ・オセアン	フィフィ・マルタンガル
8	火	アデュー・フィリピーヌ	メーヌ・オセアン	トルテュ島の遭難者たち	アデュー・フィリピーヌ
9	水	フィフィ・マルタンガル	アデュー・フィリピーヌ	メーヌ・オセアン	トルテュ島の遭難者たち
10	木	メーヌ・オセアン	トルテュ島の遭難者たち	アデュー・フィリピーヌ	メーヌ・オセアン
11	金・祝	アデュー・フィリピーヌ	フィフィ・マルタンガル ④	トルテュ島の遭難者たち	メーヌ・オセアン
12	土	フィフィ・マルタンガル	メーヌ・オセアン	16:30 アデュー・フィリピーヌ ⑤	20:00 トルテュ島の遭難者たち
13	日	メーヌ・オセアン	トルテュ島の遭難者たち	アデュー・フィリピーヌ	メーヌ・オセアン
14	月	トルテュ島の遭難者たち	メーヌ・オセアン	アデュー・フィリピーヌ	トルテュ島の遭難者たち
15	火	アデュー・フィリピーヌ	トルテュ島の遭難者たち	メーヌ・オセアン	フィフィ・マルタンガル
16	水	アデュー・フィリピーヌ	メーヌ・オセアン	トルテュ島の遭難者たち	アデュー・フィリピーヌ
17	木	フィフィ・マルタンガル	トルテュ島の遭難者たち	アデュー・フィリピーヌ	メーヌ・オセアン
18	金	フィフィ・マルタンガル	アデュー・フィリピーヌ	メーヌ・オセアン	トルテュ島の遭難者たち
19	土	アデュー・フィリピーヌ	トルテュ島の遭難者たち ⑥	17:00 メーヌ・オセアン	フィフィ・マルタンガル
20	日	トルテュ島の遭難者たち	メーヌ・オセアン	アデュー・フィリピーヌ	トルテュ島の遭難者たち
21	月	フィフィ・マルタンガル	トルテュ島の遭難者たち	メーヌ・オセアン	アデュー・フィリピーヌ
22	火	トルテュ島の遭難者たち	メーヌ・オセアン	アデュー・フィリピーヌ	トルテュ島の遭難者たち
23	水	フィフィ・マルタンガル	アデュー・フィリピーヌ	トルテュ島の遭難者たち	メーヌ・オセアン
24	木	アデュー・フィリピーヌ	トルテュ島の遭難者たち	メーヌ・オセアン	アデュー・フィリピーヌ
25	金	メーヌ・オセアン	アデュー・フィリピーヌ	トルテュ島の遭難者たち	メーヌ・オセアン

① ゲスト：須藤健太郎さん ② ゲスト：伊藤洋司さん

③ ゲスト：大久保清朗さん ④ ゲスト：角井 誠さん

⑤ ゲスト：ギヨーム・ブラックさん(*オンライン) × 坂本安美さん

⑥ ゲスト：葛生 賢さん

●上映後トークショー

「みんなのジャック・ロジェ」上映スケジュール (8/26-8/31)

		10:05	12:50	15:35	18:20
8月	26 土	メーヌ・オセアン	トルテュ島の遭難者たち	フィフィ・マルタンガル	アデュー・フィリピーヌ
	27 日	フィフィ・マルタンガル	アデュー・フィリピーヌ	トルテュ島の遭難者たち	メーヌ・オセアン
	28 月	アデュー・フィリピーヌ	トルテュ島の遭難者たち	メーヌ・オセアン	フィフィ・マルタンガル
	29 火	トルテュ島の遭難者たち	メーヌ・オセアン	アデュー・フィリピーヌ	トルテュ島の遭難者たち
	30 水	トルテュ島の遭難者たち	フィフィ・マルタンガル	アデュー・フィリピーヌ	メーヌ・オセアン
	31 木	フィフィ・マルタンガル	メーヌ・オセアン	トルテュ島の遭難者たち	アデュー・フィリピーヌ

「ヌーヴェル・ヴァーグの最も成功した作品のひとつ」—— フランソワ・トリュフォー『アデュー・フィリピーヌ』

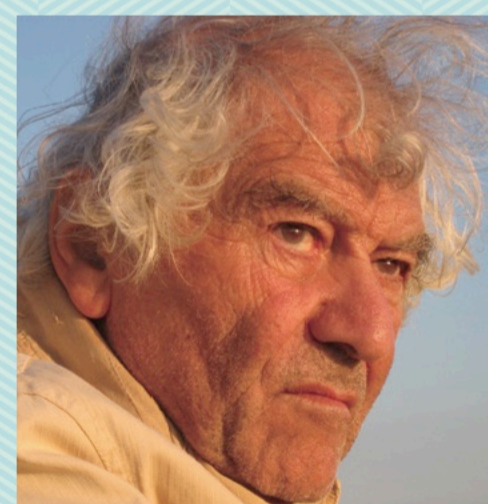
「幸せは遠くない」—— Aden『トルテュ島の遭難者たち』

「この映画をまだ見ていない人は、ジャック・ロジエの死後、フランス映画が生み出した最もクレイジーで、最も面白く、最も詩的なものを見逃している」—— Le Monde『メーヌ・オセアン』



みんなのジャック・ロジエ

JACQUES ROZIER



ジャック・ロジエ

JACQUES ROZIER

1926年11月10日パリ—2023年6月2日テウル=シュル=メール。享年96歳。高等映画学院(IDHEC)卒業。ジャン・ルノワール『フレンチ・カンカン』の撮影に実習生として参加。その後テレビ局で働きながら、初監督作となる短篇『新学期』(1955)を製作。1958年、トゥール短篇映画祭で上映された短篇第二作『ブルー・ジーンズ』がゴダールに絶賛され、ロジエはゴダールと親交を結ぶことになる。1960年、ゴダールからプロデューサーを紹介され、長篇第一作『アデュー・フィリピーヌ』の撮影を開始。同作は1962年、カンヌ国際映画祭・批評家週間に選出される。続く長篇第二作『オルエットの方へ』(1971、カンヌ国際映画祭・監督週間で上映)と長篇第三作『トルテュ島の遭難者たち』(1976)では、ロジエ作品の特徴となる夏のヴァカンスを描く。1986年、冬の週末の出会いをコミカルに描いた長篇第四作『メーヌ・オセアン』(1985)でジャン・ヴィゴ賞を受賞。2001年、長篇第五作であり最後の作品となった『フィフィ・マルタンガル』をヴェネチア国際映画祭に出品。同年パリのボンビドゥー・センターではテレビ作品を含めた大規模なレトロスペクティヴが開催された。

PROFIL

FILMOGRAPHIE

おもな監督作

- 1955 | RENTRÉE DES CLASSES / 短篇「新学期」
- 1958 | 短篇「ブルー・ジーンズ」
- 1962 | 『アデュー・フィリピーヌ』
- 1963 | 短篇「パパラッツィ」
- 1963 | 短篇「バルドー/ゴダール」
- 1964 | CINÉASTES DE NOTRE TEMPS : JEAN VIGO TVドキュメンタリー「現代の映画作家たち:ジャン・ヴィゴ」
- 1971 | 『オルエットの方へ』
- 1975 | NONO NÉNESSE / TV「ノノ・ネネス」(未完) 共同監督:バスカル・トマ
- 1976 | 『トルテュ島の遭難者たち』
- 1978 | MARKETING MIX / TV「マーケティング・ミックス」
- 1984 | OH, OH, OH, JOLIE TOURNÉE TV「オー、オー、オー、素晴らしい巡業!」
- 1985 | 『メーヌ・オセアン』
- 1990 | JOSÉPHINE EN TOURNÉE TV「ジョゼフィーヌは巡業中」
- 2001 | 『フィフィ・マルタンガル』



配給:エタンチェ、ユーロスペース ※スケジュールは公式サイト等で後日発表します。※上映は、すべて2Kです。 公式WEBサイト: www.jacquesrozier-films.com

2023年7月29日(土) ユーロスペースにて公開

ユーロスペース EUROSPACE

渋谷区円山町1-5 KINOHAS 3F
渋谷文化村前交差点左折
03-3461-0211
www.eurospace.co.jp



配給:エタンチェ、ユーロスペース



ゴダールが畏敬した 最初で最後の ヌーヴェル・ヴァーグ

JACQUES ROZIER

パリの街並み、地中海の陽光、きらめく砂浜、ロマンスに夢中の少女と
うつろいゆく青春を謳歌しようとする男たち……。

輝く季節を軽やかに大胆に切り取るジャック・ロジエの才能に、

ヌーヴェル・ヴァーグの象徴であるゴダールは絶賛し、

トリュフォーは嫉妬したという逸話をもつ。

今回の特集上映では、ジャック・ロジエ監督の長篇劇映画全5作品のうち

デジタル・レストアされた4作品と短篇2作品を上映。

長篇『トルテュ島の遭難者たち』と

『フィフィ・マルタンガル』は劇場初公開となる。



2K
レストア

ADIEU PHILIPPINE

『アデュー・フィリピーヌ』

パリとコルシカ島。夏のヴァカンス。

1962年/フランス=イタリア合作/フランス語/モノクロ/110分/1.66:1
モノラル/日本語字幕:寺尾次郎 ©1961 Jacques Rozier 1962年カンヌ国際映画祭「批評家週間」出品

1960年パリ。アルジェリア戦争のさなか兵役を数か月後に控えた青年ミシェルは、勤務先のテレビ局でリリアーヌとジュリエットという仲の良い二人の娘と出会う。二人は次第にミシェルに惹かれていくが、彼はどちらとも上手くやろうとする。そんな中、仕事でミスをしたミシェルは、兵役前にヴァカンスを楽しもうとテレビ局を辞め、二人に告げぬままコルシカ島へ旅立つ。



劇場
初公開

4K
レストア

LES NAUFRAGÉS DE L'ÎLE DE LA TORTUE

『トルテュ島の遭難者たち』

カリブ海へ。冒険ヴァカンス。

1976年/フランス/フランス語/カラー/146分/1.66:1/モノラル/日本語字幕:高部義之 ©1974 Jacques Rozier

パリの旅行代理店に勤めるボナヴァンチュールと同僚の「太っちょノノ」は、ロビンソン・クルーソーの冒険を追体験させる無人島ヴァカンスツアーを企画する。彼らはツアー候補地のカリブ海へ調査に向かうが、空港で「太っちょノノ」が逃げ出し、代わりに弟の「プティ・ノノ」がボナヴァンチュールに同行することになる。現地に着いた二人が無人島を探していると、パリから最初のツアー客がやってくるが、誰もボナヴァンチュールの言うことを聞こうとしない。



4K
レストア

MAINE OCÉAN

『メーヌ・オセアン』

大西洋の島へ。冬の小さなヴァカンス。

1985年/フランス/フランス語、ポルトガル語、スペイン語、英語/カラー/136分/1.66:1
モノラル/日本語字幕:寺尾次郎 ©1986 Jacques Rozier 1986年ジャン・ヴィゴ賞

ブラジル人ダンサーのデジャニラは、パリ発の特別列車「メーヌ・オセアン号」に飛び乗るが、検札係に罰金を命じられてしまう。フランス語が分からない彼女だが、たまたま通りがかった弁護士の女性に助けられる。翌日、弁護士に誘われ漁師の裁判に立ち会ったデジャニラは、その漁師が住む大西洋の島で週末を過ごすことにするが、そこに検札係もやって来て……。



劇場
初公開

デジタル
レストア

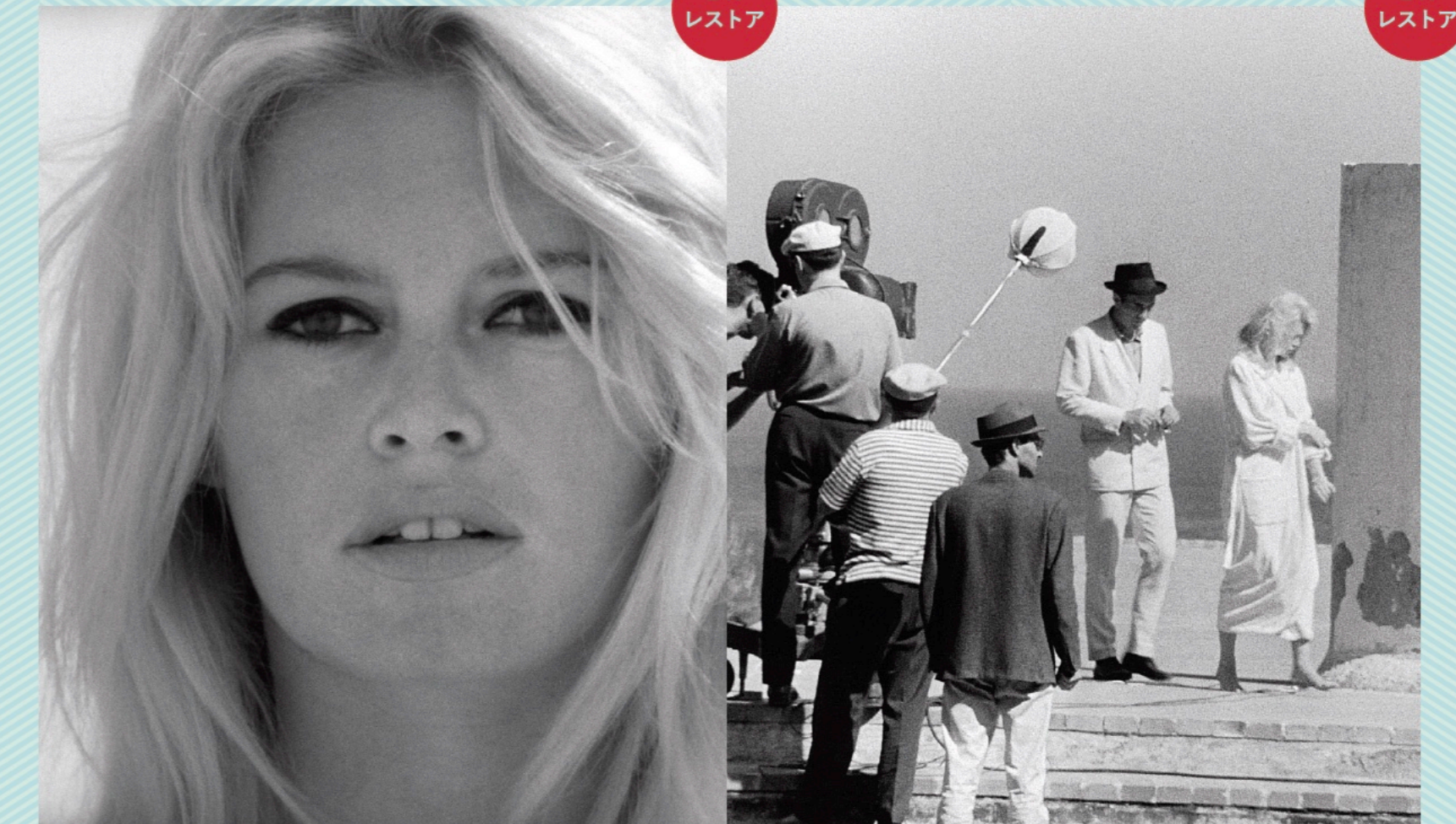
FIFI MARTINGALE

『フィフィ・マルタンガル』

ヴァカンスから演劇へ。

2001年/フランス/フランス語/カラー/120分/1.85:1/5.1ch/日本語字幕:高部義之 ©1997 Jacques Rozier
2001年ヴェネチア国際映画祭「現代の映画」部門出品

ブルヴァール劇『イースターエッグ』はパリで大ヒット中。この低俗な自作が権威あるモリエール賞を受賞したと知った劇作家は、これを何かの陰謀だと思い込み、上演中の戯曲を改造して「敵」に報復しようと企む。



2K
レストア

2K
レストア

PAPARAZZI

『パパラッツィ』

1963年/フランス/フランス語/モノクロ/22分/1.37:1
モノラル/日本語字幕:寺尾次郎、追加訳:高部義之
©1963 Jacques Rozier

LE PARTI DES CHOSES : BARDOT / GODARD

『バルドー/ゴダール』

1963年/フランス/フランス語/モノクロ/10分
1.37:1/モノラル/日本語字幕:寺尾次郎
©1963 Jacques Rozier

1963年5月、ゴダール『軽蔑』の後半部分を占めるカプリ島での撮影現場を訪れたロジエは、そこで撮影したフッテージをもとに二本の短篇を製作する。

『パパラッツィ』では、ブリジット・バルドーを一目見ようと集まる群衆や、スクープ写真を狙うパパラッツィに焦点をあて、『軽蔑』を外側から捉えようとする。『バルドー/ゴダール』では、作品の内側からゴダールの撮影美学に迫りながら、ロジエの作家性をも浮かび上がらせている。